



横浜市では震度5強以上の地震が発生すると、区内35か所の避難所(地域防災拠点)が開設されます。

皆さんは避難所がどんな場所かご存じでしょうか?

必ずやってくる大地震に備えて、避難所のことや、避難の種類について知っておきましょう。



地震がおきたらどうするか
みんなで考えてみよう!

避難所の現実

● 備蓄食料は?



- 水は1人あたり700ml
- 食料はクラッカーやパン2つ



● トイレは?



- 仮設トイレは避難所に2~5個設置
- 臭いや汚れが気になる



● 居住スペースは?

- 1人分は約2m²
- (畳1畳より少し広いくらい)
- 冷暖房はないことが多い
- 明かりも1人ひとりの手元を照らせるほどはない



新型コロナウイルスへの警戒が続く中、大地震のときの避難所では、「密閉・密接・密接」の3条件がそろいやすく、小規模の団体感染が発生する懸念があります。

在宅避難へのご協力をお願いします。



避難とは「難を避けること」です。難を避けるため、密を避けるため、在宅避難など、安全が確保できる選択肢が多く持てるように、日ごろから備えておくことが大切です。

感染症の心配もあるし、震災時も家で過ごしたいね。

とりあえず避難所に行けば水や食料が揃っていて、快適に過ごせるのかなと思っていた…

自宅はどうかな? 在宅避難できるかな?

チェック① 飛散防止フィルム



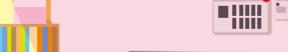
チェック② 家具転倒防止器具



チェック③ 電池式ランタン



OK!



OK!



OK!



OK!



OK!



OK!



OK!



OK!



OK!



OK!

OK!